

# 建設工業新聞

優 勤  
comfortable space  
空 間

豊かな経験・最高の技術  
ロープ式・油圧式エレベーター設計・製作・据付・保守  
横浜エレベーター株式会社  
横浜市中区松影町2-8-6 ☎045(662)1594(代表)  
http://www.yokohama-elevator.jp/

## 海外市場 レポート

Global Market Report  
ブラジル



外国企業のブラジルでの動向が今後、注目される。ブラジル国内に外国建設企業が一方、ブラジル建設業経営の多角化・国際化の道である。ブラジルでは、1990年代後半から2000年代初頭にかけて、世界最大の水力であるイタイプダム建設に代り、巨大なインフラ事業が代り、中頃から80年代の中頃まで積極的に進められ、国内の技術を大いに向上させるとともに国内建設企業の発展に大きく貢献した。しかし、インフレが10%を超えた1981年頃から低迷し、建設業界も長期低成長を迎えた。その頃、新たなチャンスを探り、一部の建設企業は他の中南米諸国やアフリカ等の海外建設市場へ目を向け、事業の多角化も進んだ。結果、今では、例えばのオデブレヒトグループの内、建設関連の売上はどの国よりも高く、海外売上も信託会社Ojや、日本でも一人一社サンダルブランドHANASの製造・販売会社に多種多様な事業展開を行ったり建設業とは言いえない発展している。ブラジルに向かう外国建設業界外・他業種に向かうブラジル業界。世界有数の経済大国つつあるブラジルの今を反しているのかもしれない。(毎月1回掲載)

## プロフェッショナルバンク

人材サービス大手のパナソニックで代表取締役を務めた上田宗央氏と元役員メンバーが中心となり、人材ビジネスの立場から日本の雇用に対する意識を変革しようとして04年10月設立した。企業と働き手の双方にとって最適な雇用システムの構築を目指している。

人材サービス業界での豊富な経験とノウハウをベースに、新たな人材市場の創造と雇用の最適化を実現するまったく新しいサービスを数多く展開している。

所在地=東京都千代田区内幸町2の2の2 富国生命ビル22階  
資本金=2億5550万円  
URL=http://www.pro-bank.co.jp/

# ヘッドハンティング 建設会社の依頼復調

## 即戦力獲得は受注も左右



呑田好和取締役

04年に人材サービス大手パナソニックの元役員が中心になって設立した同社。当初は求職者のデータベース(D B)を作り、企業のニーズに合った人材を紹介する事業を手掛けていた。だが、D Bに登録された人材だけでは、高度で多様な企業に必要とされる人材の確保が難しくなってきた。05年にヘッドハンティング事業を始め、現在は売り上げの6割を占める主力分野に成長させた。

ヘッドハンティング事業では、人材を求めた企業の紹介に加え、保有資格など

決める、スタート時の着手金と最終的な手数料の2回に分けて料金を徴収する。

建設業の場合、サーチ活動では、これまでに培った人脈や建設会社OBからの紹介に加え、保有資格など

迷がその原因とみられる。しかし昨年は18件と急回復。今年は既に依頼ベースで20件を超えるなど再び活況を呈している。

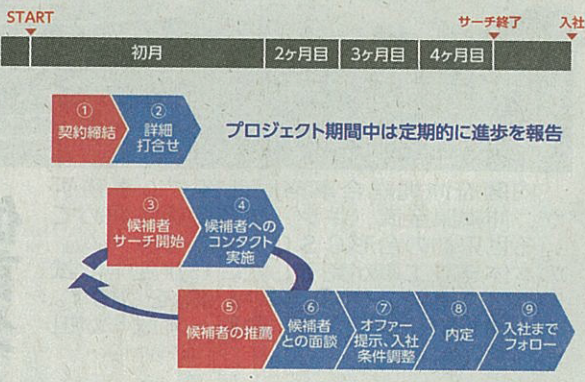
復調の背景にあるのが維持修繕市場の拡大だ。東日本大震災の復興需要はあるものの、国内の建設投資はピーク時に比べると半分程

## 転職支援のプロフェッショナルバンク

## スコープ 人材戦略

転職支援のプロフェッショナルバンク(東京都千代田区、児玉彰社長)に、08年秋のリーマンショック後に減った建設業界のヘッドハンティングの依頼が再び増えている。他業界に比べ優秀な人材の流動化が進んでいないとされる建設業のヘッドハンティングで8割という高い成功率を誇る同社。ヘッドハンティング事業部を担当する呑田好和取締役は、リニア市場の拡大などを背景に、即戦力の獲得需要は「今後さらに伸びるだろう」とみる。

(編集部・岩本英司)



ヘッドハンティング事業の流れ

公開されている情報や文獻なども頼りになるという。呑田氏は「求職者D Bに登録されている人材は、現場で働いてきたといってもサポートクラスの人も多く、必ずしも企業のニーズに合致したものにはなっていない」という。

企業が求める人材は、その能力によって工事の受注が左右されるような現場所長や現場代理人といったエース級の技術者ということが多い。しかし、人材の流動化が進んでいない建設業界では、そうした人材たちが転職市場に出てくるケースはまれ。そのため、ヘッドハンティングのような攻めの姿勢で人材を探る手法が有効になる。

建設関係での同社のヘッドハンティング実績は、07年が6件、08年が14件、09年が17件と順調に伸びてきたが、10年には7件、11年には3件と急減した。リーマンショックによる景気低

# 豊富なネットワーク生かし成功率8割

度まで減っている。その中でも、ビル、商業施設、公共施設などのリニア需要は伸びている。特に耐震化、省エネ化、エコ改修など、高度な技術を用いるリニアが最近注目を集めている。ゼネコン、設備工事会社、ビル管理会社などでは、こうした需要に対応できる技術とノウハウを持つ即戦力の人材需要が高まっている。

仕事人生を真剣に考えてもらう

ただ、こうした人材にはもともと転職意識があまりない人が多く、候補になる人材を探すのは難しい。仮に候補者を探し当て、面談で説得を試みても、「あの工事部長のことは裏切ることほできない」などといった転職をためらうケースも少なくないという。面談では、「真摯な態度で話し、まずはこちらを信頼してもらったことが先決」と呑田氏。依頼してきた会社の事情を詳しく説明し、所属会社の現状と照らし合わせることで、「自分の仕事人生について一度真剣に考える機会を持ってもらうように促す」という。

重要なのは、5年、10年という長い視点で転職者本人が幸せを享受できるようにすること。同社はそれが結果として、ヘッドハンティングを依頼してきた企業の要望をかなえることにもつながるとみている。

## 少女漫画になったドボジョ(土木女子)を語る

土木学会(小野武彦会長)の社団法人コミュニケーション委員会は、第1回「土木a la mode(ア・モード)ドボジョ」が少女漫画のヒロインになる」と題したイベントを、27日に東京・四谷の土木



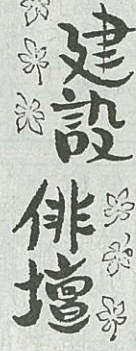
開催

### 対中直接投資 2月は6.3%増 中国商務省 9カ月ぶりプラス

【北京時事】中国商務省が19日公表した2月の対中国直接投資(FDI)は、前年同月比6.3%増の82億1400万ドルと、9カ月ぶりにプラスに転じた。ただ、春節(旧正月)連休の時期ずれの影響を除くために1~2月の累計で見ると、前年同期比1.4%減の174億8400万ドルにとどまった。

2月の日本の対中投資は前年同月比12.1%増の6億2900万ドル。ただし、1~2月では12億6900万ドルと、前年同期比6.7%減少した。

特に日本の投資は、開港場をめぐる日中悪化で、今後も低迷が続く可能性がある。1~2月の中国の直接投資は183億00万ドルと、前年同期比2.5倍近くに膨ら



## 建設 俳壇

鹿島木風会 選者 古賀雪江  
解体にビルの消えゆくおぼろかな  
砂浜の僅かにありて潮干狩  
梅静か申告納税終へし朝  
龍夜の飲声埼玉スタジアム  
野遊の最中も追ふや一行詩  
波止おぼろ大棧橋も朧かな  
野遊やコンビニ弁当たづさへて  
身ひとつといふ軽さも野に遊ぶ